



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

環境大臣 望月 義夫 殿

2015年5月18日

キリン株式会社 磯崎功典
代表取締役社長

キリングroupは、豊かな地球のめぐみを将来にわたって享受し引き継ぎたいという想いを、バリューチェーンに係るすべての人々と共につないでいきます。

1. 生産地に寄り添い、持続可能な生物資源の使用を推進します。

- 持続可能な農園認証の取得を支援し、原料原産地の生物多様性を守ります。
- 紙・印刷物について、2015年までに持続可能なものであることを100%確認します。
- パーム油について、2015年までに認証証明取引プログラムを利用して100%対応します。

2. 使う人を思い、持続可能な容器包装の使用を推進します。

- メカニカルリサイクルによるペットボトルのボトルtoボトルについて、業界トップクラスの取り組みに努めます。
- 容器包装3R推進環境大臣賞を受賞したビール用軽量リターナブル大びん（従来比21%軽量化）、業界最軽量のビール用軽量リターナブル小びん（従来比10%軽量化）、204径アルミ缶（従来比18%軽量化）、コーナークットカートン（従来比2%軽量化）などで養った開発体制を活用して、製造から輸送・使用・リサイクルに至る商品ライフサイクル全体で、更に環境負荷の低い容器の開発に努めます。
- リターナブルびんシステムの維持・啓発に努め、容器の再使用を推進します。
- 容器開発において、できるだけ単一素材を目指し、複数素材では分離が簡単で再生利用しやすい形状に努めます。また、リサイクル関係団体と連携して、容器の再生利用を推進します。

3. 地域と共に、持続的な水源の使用を推進します。

- 全国の工場を中心に「水源の森づくり」活動を継続します。
- 水の高効率利用の推進、排水負荷の最小化に取り組み、地域の水資源を守ります。

4. バリューチェーンのCO₂排出量を地球の吸収可能範囲に抑えます。

- 日本総合飲料事業を含めたグローバルで事業のバリューチェーン全体のCO₂排出量を、2050年までに1990年比で半減します。
- 国内の「製造、物流、オフィス」のCO₂排出量を、2015年には1990年比で55%削減します。
- グループ全体の知見の共有等を行い、製造工程の改善を実行し、工場が発生するCO₂排出量を削減する取り組みを継続します。
- 他社との共同配送等により、トラック延べ台数を減らす取り組みや輸送ルートの見直し、輸送距離を短縮する取り組みを進めます。

5. 再資源化の取り組みを積極的に推進します。

- 製造工程で発生する仕込粕の飼料・土壌改良材・キノコ培地への資源化や、廃棄プラスチック箱および廃棄プラスチックパレットのプラスチックパレット原料への再利用など、様々な副産物・廃棄物再資源化100%を継続します。

キリン株式会社は、上記取り組みの進捗状況について、定期的に公表するとともに、環境省への報告を行ってまいります。

KIRIN